

【施設状況】

グループ名称	南長野運動公園総合運動場						
指定管理者名	07007	株式会社コナミスポーツ&ライフ					
所管課	主	151000	スポーツ課	副			
構成施設	3489	南長野運動公園総合運動場					
施設分類	02	施設貸出1型	施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	野球場（愛称「長野オリンピックスタジアム」）、体育館・プール棟、テニスコート（16面）、屋内ゲートボール場（1面）、屋外ゲートボール場（5面）、相撲場、総合球技場、公園施設（噴水、大池、遊具、園路灯等）						
施設設置目的	市南部地域における市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として整備し、心身の健康保持増進とみどり豊かな憩いの場の創出を図るため建設された。						
基本方針等	南長野運動公園総合運動場は、長野市を代表する基幹運動公園として、自然環境と調和し、幼児からお年寄りまで世代を越えた幅広い年代層にスポーツ活動の場と憩いの場を提供することのできる施設となることを目指しています。さらに利用者に質の高いサービスとスポーツ鑑賞の場を提供することにより、利用増を図ることを求めています。						
主な実施事業	①施設貸出（一般利用）、②スポーツ教室・プログラム（野球場・プール・体育館・テニスコート・総合球技場）、スポーツ用品販売（プール・体育館）、審判講習会（野球場）、スポーツアカデミー						

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社コナミスポーツ&ライフ			指定回数	1 回
指定期間	平成23年4月1日	～	平成28年3月31日	5年	管理運営開始日 平成23年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	概ね事業計画にそった管理運営が行われて、組織体制は提案時の状況を維持しており、安定している。財務状況は、初の赤字決算となった。赤字の原因としては、施設経年劣化による修繕費の増加であるため、指定管理者の責によらない。大阪市の都島・福島・平野スポーツセンター、平野屋内プールで指定管理実績があるが、H25の評価も3段階の「B・標準」となっており、問題となる点はない。			
					3

2 施設の有効活用

No. 77

		利用区分等	単位	H23	H24	H25	H26	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		野球場 (オリンピックスタジアム)	人	82,759	98,542	83,362	101,012	121%	3
		体育館	人	38,441	51,980	36,674	42,128	115%	
		プール (月額会員含む)	人	114,206	140,062	107,132	123,768	116%	
		テニス	人	56,142	67,576	52,620	49,072	93%	
		総合球技場	人	49,627	58,631	33,254	11,554	35%	
								#DIV/0!	
		(特記事項) ・総合球技場及びテニスコートを除き利用者数が増加している。総合球技場は、改修工事により2月末まで休場であったため。テニスコートは、H26年4月行った4面の人工芝張替工事及び大雪の影響が主な減少の要因となった。							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	○施設の利用の許可に関する業務 ○施設及び設備の維持管理に関する業務 ○施設の利用の取り消しに関する業務 ○利用料金の収受に関する業務 ○予約システムによる利用許可の申請時に関する業務 ○南長野運動公園の管理に関して市が必要と認める業務							
	自主事業	○子供向けスイミングスクール ○テニススクール ○スポーツアカデミーの協力開催 (信濃グランセローズ、AO長野パルセイロ) ○スキルアップ教室の開催			○子供向けスイミングスクールの教室数増加 ○信州ブレイブウォリアーズ・バスケットボール教室の開催				
サービス維持・向上の取組み (広報等)	・ホームページや新聞・チラシ等により積極的に広報活動を行い、幅広く参加者を呼びかけている。 ・パンフレット・リーフレットを作成し施設内で配布し、PRを行った。 ・利用申込は、窓口及び電話により常に事務所で対応できるよう適切な人数が確保されている。 ・利用者からの苦情に対しては、マニュアルに基づき実施している。								

3 利用者評価

No. 77

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容	平成26年度利用者アンケートを実施した。 実施期間 : 平成26年12月3日 (水) より12月28日 (日) 182名から回答があった	
		(3) 調査、会議等の結果	・受付フロントについて 3.83点 (5点満点) ・マシンジムについて 3.71点 (5点満点) ・プールについて 3.51点 (5点満点) ・スタジオについて 3.51点 (5点満点) ・ロッカー、トイレについて 3.34点 (5点満点)	
	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	・施設全体としては概ね高評価を得た。 ・スタッフの印象、対応、言葉づかいについては高い評価を得た。	4
		(2) 苦情・改善等の要望事項	プールのジャグジーに入っていると時計が見えない。 シャワールームがカビ臭い。	
		《対応措置》	見やすい箇所へ、新規に時計を設置した。 スノコ洗浄の実施及びシャワーカーテンの交換を行った。	

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成26年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成26年度決算		平成25年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	90,316,000	利用料金	100,855,380	歳入	フェンス広告料	7,452,000	フェンス広告料	7,452,000
	指定管理料	145,449,000	指定管理料	159,827,000		公園占用料	19,935	公園占用料	16,818
	その他収入	0	その他収入	0		行政財産目的外使用料	208,793	行政財産目的外使用料	220,947
						雑（納付金）	0	雑（納付金）	3,161,000
	計	235,765,000	計	260,682,380		計	7,680,728	計	10,850,765
支出	人件費	75,000,000	人件費	75,873,506	歳出	指定管理料	159,827,000	指定管理料	144,634,000
	設備管理費	61,141,572	設備管理費	68,958,960		委託料	150,000	委託料	150,000
	備品購入費	370,286	備品購入費	864,000		その他		その他	
	修繕費	5,142,867	修繕費	8,118,360					
	光熱水費	65,922,571	光熱水費	80,737,847					
	事業費	8,125,000	事業費	4,103,400					
	事務経費	1,625,134	事務経費	1,568,160					
	本社経費	17,682,000	本社経費	19,551,179					
	その他	755,570	その他	1,427,932					
		計	235,765,000	計		261,203,344		計	159,977,000
自主事業	収入	20,717,000	収入	25,479,885					
	支出	8,237,000	支出	13,567,612					
	自主事業損益	12,480,000	自主事業損益	11,912,273					
損益	12,480,000		11,391,309	差引		-152,296,272		-133,933,235	
人件費比率【人件費(賃金等)／平成25年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合) 29.0%									
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				予算計上時に前年の実績額を本社経費として計上している。決算においては一定割合(7.5%)を総収入額に乗じて求めているため増額となった。					

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 45名(嘱託職員12名を含む) 野球場勤務者 14名 テニス場・球技場勤務者 6名 体育館勤務者 17名 プール勤務者 8名(上記常勤管理職 3名を含む)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	4
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	4
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・市の行政施策と連動した健康づくりの展開 ・地域指導者の連携・育成支援 ・市内企業・団体と連携したイベントの開催 ・地元プロスポーツチームの応援 ・他指定管理者との連携 ・利用者調整会議・長野市との連絡調整会議・運営協議会設立 ・地域自治体との連携 ・地元企業への委託 	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	8	
事業収支	3	12	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	4	16	
地域連携	4	8	
合計得点			

評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・総合球技場の運営をAC長野パルセイロへ再委託を行い、緊密な連携体制を構築しているため「地域連携」は「4」とした。 ・平成24年度より指定管理者提案により開始した、月1回の定例会を継続して開催し、情報の共有を図り管理及び運営面での改善につなげている点は評価できる。 ・指定以来一環して指定事業の黒字を維持していたが、H26年度は△521千円の初の赤字決算となったが、施設経年劣化による修繕費の増加が主たる要因であり指定管理者の責にはない。また、赤字幅を最小限に抑えたことから「事業収支」は「3」とした。 ・利用促進のため、利用者参加型のイベントを定期的に開催していることは評価できる。
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合球技場改修に伴い、公園内の一部利用制限が行われる間の、利用者への配慮と、各種大会及びイベント時の円滑な運営について引き続き対応を行う。 ・総合球技場改修後の維持管理が、円滑に行われるよう、調査研究を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合球技場改修工事受注業者との連携を図り、施設利用者への影響を必要最小限とした。 ・総合球技場竣工後、円滑な引渡し及び順調な管理運営が行われている。 	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設老朽化に起因する事故の発生を防ぐため、施設の巡回を強化し、利用者の安全を第一に考えた施設運営管理を引き続き行う。 ・J3公式戦の開催により、他施設での大会が重複して行われるため、円滑な運営が行われるよう、指定管理者が中心となり利用者間の調整を行う必要がある。 ・総合球技場の大会・競技会開催日以外の利用促進を行い、利用率の向上を図る必要がある。
---------------------	---

指定管理者自己評価

A

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・利用者数は、平成25年度342,889名（うち球技場33,254名）から平成26年度341,077名（うち球技場11,554名）となり、2月まで改装工事中であった球技場を除くと、309,635名⇒329,523名（前年差+19,888名、前年比106.4%）と大きく増加しました。
- ・信州ブレイブウォリアーズバスケットボール教室を10月より開始しました。
- ・AC長野パルセイロサッカー教室を3月より開始しました。
- ・当施設の情報以外に、長野市イベント情報リーフレットを設置し告知しました。
- ・マシンジムの混雑状況を、曜日ごと、時間ごとに色分けし、お知らせしました。
- ・携帯電話等使用エリア、プールサイドの転倒注意などの案内サインを分かりやすい表記にしました。
- ・組織の垣根を越えて、野球場や体育館からも職員が応援に駆けつけ、テニスコートの除雪作業を行いました。
- ・総合球技場の施設案内リーフレット2,000枚を作成し、見学者、来場者に配布しました。
- ・大会開催時には関係役員駐車場を一部確保するために、コーン・バーなどを設置し、利用者の安全確保とスムーズな大会運営に協力しました。
- ・ホームページを活用し、大会・イベント開催情報や駐車場の混雑予想などを発信しました。
- ・冬季期間の降雪時には、テニスコートの営業情報をホームページを活用し発信しました。
- ・平成27年3月総合球技場竣工に際し、長野市、建設施工事業者との連携を図り、「消防検査（4日間）」「建物設備機器取扱説明会（2日間）」「大型映像装置取扱説明会（2日間）」を施設管理者として3名が参加しました。3月に行われた竣工式、市民内覧会、こけら落としの運営をサポートしました。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・公園内イベント、及び各種大会開催時に事前に主催者と打ち合わせを行い、公園全体の情報共有を行いました。
- ・主催者の意向により大会開始時間が早い場合、始業時間を早くし対応いたしました。
- ・運動公園維持管理会社間での定期連絡会を毎月第2月曜日に行い、各管理棟（野球場、テニス、体育館・プール、総合球技場）の大会予定や駐車場の混雑予定を情報共有しました。

③ その他

- ・環境への取り組み活動として、ごみの分別、エコキャップの回収（12,040個）などを利用者様にも協力いただき推進しました。
- ・安全への取り組みとして、毎月1回プールでの救助訓練や各居室で緊急事態を想定したシミュレーション訓練を実施しました。
- ・消防法で義務付けられている自衛防災訓練を篠ノ井消防署に立ち会いただき、年2回実施しました。
- ・質の高いサービスを提供するために、接客研修、フィットネス研修、スイミング指導研修などを実施しました。
- ・長野市制作の「人権問題啓発DVD」を視聴し、スタッフ自らが平等利用について考える研修会を実施しました。
- ・長野市南部を中心に、5月50,000部・9月50,000部の利用者募集新聞折込チラシを広報活動として実施しました。
- ・フリーペーパー雑誌「ほっとパル」10月号に本施設の記事を掲載し、市内134,000部を配布した。
- ・4月13日マスターズ短水路水泳大会を開催し、458名（105チーム）の参加者が来場しました。また野菜・果物・弁当など、地元特産物の販売コーナーを設置しました。
- ・9月2日巨人VS広島島の試合で、24,786名の来場者がありましたが、主催者と連携して運営を円滑に行いました。
- ・11月23日24日「ながの食の合戦2015」で、こどもダンス教室の受講生がパフォーマンスを行い、イベントの盛り上げに貢献しました。
- ・プール水質検査を毎月、レジオネラ属菌検査を4月・8月・12月に実施し、適切な管理を行いました。
- ・全スタッフに、当社独自の個人情報保護理解度テストを実施し、その理解を深める研修を実施しました。
- ・全スタッフに、IT（インフォメーションテクノロジー）セキュリティ理解度テストを実施し、その理解度を深める研修を実施しました。
- ・全スタッフに、心肺蘇生法（CPR）体外式自動除細動器（AED）ライセンス取得を義務づけて、保有しています。
- ・平成26年11月22日（土）22：08ごろ長野県北部で震度6弱の地震が発生した際には、速やかに施設の点検を行い、大きな被害はなく、翌日から通常営業いたしました。
- ・指定管理事業収支について、光熱水費の単価高騰があり、また老朽化により施設修繕費が増加した影響で支出が大きく増加しました。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・各施設での大会開催時に、限られた駐車場の有効活用を図る必要があります。
- ・各施設の設備、躯体などの経年による劣化、老朽化があり、大規模修繕を実施する必要があります。
- ・総合球技場の試合開催以外で、有効活用を促進する必要があります。
- ・光熱水費の単価高騰により、省エネルギー施策をより強化する必要があります。

(3) 次年度以降の取組み

- ・各施設の設備等の維持管理を適切に行い、長寿命化に取り組むことです。
- ・地域住民や地域団体と連携した運動公園の活性化や活用に取り組み、施設利用価値を高めることです。
- ・スポーツや運動にとらわれない運動公園の活用と利用促進。
- ・総合球技場をはじめとした各運動場での市民参加型イベントの実施。

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る